

まったくの天幕生活

2004年から始めたblog。古代史がらみのHP「蝦夷を訪ねて」も立ち上げてしまった。そこで、このblogをインドア系のblogに、HP「蝦夷を訪ねて」をアウトドア、土地の由来、地域関連にテーマを分けた。

[新着記事](#)
[カテゴリー](#)
[コメント](#)
[リンク](#)
[蝦夷を訪ねて](#)
[HOME](#)

ブログ内検索

[検索](#)

プロフィール


H N :

どら部屋のどら

H P :
[蝦夷を訪ねて](#)
性別 :

男性

趣味 :

最近キャンプやってないなあ

自己紹介 :

2005年以前はキャンプにベッタリでしたが、

山歩きにハマった2006年。

森をあるき、山小屋で休み、山頂からの写真をとる。

 時々、トホホ登山をしたりもする
(←命がけデス)

ビギナーの冬山山行 その2 【船形山】



2月上旬の船形山は、新雪に沈み込むスノーシューが重かった{{>_<}}

3月になった船形山は先月より少なめで、何とかスイスイの登りだ。

どうやら、スノーシューの歩き方を間違えていたらしい。

抜き足を雪面から離すように、足を持ち上げて歩いていた。

しかし、このデナリEVOアッセントはスキー板のごとく先っちょが上に跳ね上がっている。

これって、足を持ち上げなくともいいんじゃないかな?

そんな疑問に対応すべく、足を引きずるように、普段の平地の足の運びと同じにしたら、

歩けるではないですか。

こりやあ、苦痛は少ない。雪が少ないせいもあるが、冒頭のスイスイだ。

カレンダー

最新CM

えみしを訪ねて

カテゴリー

リンク

アーカイブ



【趣味いろいろ】

•ガーデニング

山→緑→庭→ガーデニングと園芸・造園（？）も趣味になりつつ。

多肉植物にも手を出しあはじめました。

カテゴリにガーデニングあります。

◎mixiにはまってル！？

•古代東北地方にいた民族「蝦夷（エミシ）」

小説「火炎」を読んで以来、岩手県の地元の所縁の地を訪ねます。

この急登もスノーシューのヒールリフターが付いているので、結構楽チンだ。

まだ余裕があるせいか、後続をパチリ。

このスイスイのお調子モンは、ヘロヘロになりつつも三光の宮到着が1時間早かった。



アクセス解析

カウンター

[RSS 0.91](#)[RSS 1.0](#)[RSS 2.0](#)

コーヒー休憩をとり、次なる目的地升沢小屋へ向かう。

この休憩の最中に後続の方に追い抜かれ、踏み跡をトレースして追従する。

途中、山頂小屋がポツンと見えます。背景が青空だったらなあ。

ここから、升沢小屋までは夏の登山道はまったくみえないし、景色も一変しているので、

シーズン中の船形山とは別の山だ。

なだらかな、斜面を登り、沢を2本突き進むが、全てトレースがあるおかげで助かります。



歩くこと、1時間。とりあえず升沢小屋に到着。

ここまでトレースがなかったら、小屋までたどり着けたかどうか、怪しいものです。

さて、ここから山頂を目指すかどうか、時刻は11時を回り、

山頂までうまくいけば1時間。

この雪だから2時間？

下山は夕暮れになるかもです。ヘッドライトも持ってきていません。

う～危ない。決断の時ですが、先行者は行くといっています。

まあ、時間がかかるようであれば、引き返そう！

とりあえず行けるトコまで行ってみよう。こんなゆるい考えでいいのでしょうか？



途中雪原にあった樹氷。

やはり山頂は風が強かったらしく、膝ぐらいまでの吹き溜まり、軽めのアイスバーンあり。

でもスノーシューの歯がガッチリと食い込んで不安は全くなし？

一部食い込まないときもあったがソローリ、ソローリ。滑落はイヤです。



升沢小屋からストレートにきたため、1時間で山頂。冬山のメリットですね。

山頂の標識はえびの尻尾だらけ。こんな長く成長するもんなんだ(°O°)



雲間から覗くうっすらとした太陽ですが、山形側もばっちりの見晴らし。

冬の光に照らされた月山がフンワリと浮かび、やさしげに誘っているみたいだ。

うへん、月山も行きたくなってきた。

山頂小屋で先行者と食事をとり、おかずの物々交換をして、山の話を伺った。

塩釜の大先輩でした。

山頂からのパノラマを撮る

さあ、早く下山しなくっちゃや。

暗くなっちゃう、ということで、食事の後方付けもそそくさと、下山開始が13時20分。



10分も歩くとすぐ真下に升沢小屋が見えます。

下山は楽チンかと思いきや、スノーシューが滑ったり、スノーシューを履いた足が斜面に合わせてひねったり。

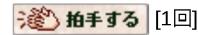
トラバース気味な斜面がくたくたの足にはきつかった。



青空が広がり始めた14時、ほんのりと色付きはじめた木々に日があたり、

雪上にも長い影が出来る。

寒い季節ながらも、雪上の長い影が心を和ませます。



PR

2009/03/08 (Sun) 山歩き Trackback() Comment(7) ▲TOP

<< 本日は大掃除なり [HOME](#) ビギナーの冬山山行 【船形山】 >>

COMMENT

NAME

TITLE

MAIL (非公開)

URL

EMOJI



COMMENT

メッセージをどうぞ

PASS (コメント編集に必須です)

SECRET

管理人のみ閲覧できます

送信

無題

by 山伏 2009/03/10(Tue)20:59 [Edit](#)

おおお～！

冬季船形山登頂おめでとうございます！！

やりましたね！

冬季船形山はこうなってるんですね。エビのシッポも発達していていい感じです。
月山も綺麗！

スノーシューは潜る深さで歩き方を変えてみましょう。
それは登りと下りでも言える事ですよ！
とにかく「慣れ」ですね。
でもどらさんはもう大丈夫そうですね。
私も頑張らねば！

無題

by M A R S H A L L 2009/03/11(Wed)16:14 [Edit](#)

本格的な登山ですね
今時あの山にこのような積雪　すごいですね
先日、山形の小国の中奥へ
廃道と廃村を見学に
圧倒されました
「長井の大石地区」の廃道・廃村です。
哀れさが前面に出て　もの悲しい雪の風景でした。

無題

by どら 2009/03/11(Wed)17:12 [Edit](#)

山伏さん

偶然の相棒さんがいたので、トレースもあり、ラッキーだったと思います。
こんなうまく登れると、次はどこかなあ、と次の山を妄想しています。
こんなうわついていると危険かもです。
今日、ネットをみていると、こんな文章がありました。

『「雪山で死なない為の準備をしないでバックカントリーに入る」ということは、「死ぬ準備をして雪山に入る」というのに等しい意味を持っています。』

今回はエマージェンシーシート、予備の食料、ヘッドライト、G P Sも持っていました。
ツェルトも買っていないんですけど。
そんな甘い装備ですので、トラブルがあったら、どうなったことか。
山伏さんは3行前の装備はどうしますか？

無題

by どら 2009/03/11(Wed)17:18 [Edit](#)

マーシャルさんへ

おっ、廃村・廃道ですか。
その物がなしさ、いろいろなドラマと事情を想像すると、
一冊の本になりそうです。
人の不幸なのかもしれません、しんみりさが伝わると心が落着きます。

「そのもの悲しい雪の風景」画像楽しみにしています。

無題

by 山伏 2009/03/11(Wed)21:07 [Edit](#)

私はG P S、ツェルトは持っていません。
予備の食料はもちろん持って行きます。たとえそれが行動食のチョコバーでも、おおいに助かるはずです。
私は迷ってビーバークを強いられた経験はありませんが、夜の闇にはヘッドランプの明かりは心細さを少しでも和らげるはずです。ご存知の通り私は夜登ったりしてるので、ヘッドランプはいつもザックの中ですね。

標高の低い1200mでも、例えば森林限界を越え、目標物を捕らえにくい稜線でガスに巻かれたら冬の山は怖いです。
登りと下りの違いを常に頭に入れながら登っています。

トレースする場合、それが登山者ならまだいいですが、獵師さんの場合もある
のでご注意を！

無題

by どら 2009/03/11(Wed)21:49 [Edit](#)

そうですね。
ヘッドランプは持とう、と思います。

トレースの元が獵師さんですか！
うへん、それは考えたことなかったです。

後欲しいな、と思ったのが、休憩時のマットが欲しいかなと思いました。
ビパーク時もマットが効果ありそうです。

無題

by M A R S H A L L 2009/03/23(Mon)20:38 [Edit](#)

若葉の頃 再度 小国へ 廃村調査
それから 原稿作って載せますね
あのような、山奥で ものすごい 古代の城のような
石を積み上げて 家を建てるのです

現代に 全寮制で 頂上に短大があり 今も学生がいるのです。
恐ろしいほどの細い登山道で雪道
坊主の修行道場かな？

TRACKBACK

Trackback URL :

Copyright © -- まつりの天幕生活 -- All Rights Reserved
Design by [CriCri](#) / Photo by [Geralt](#) / powered by [NINJA TOOLS](#) / 忍者ブログ / [PR]